

いよいよスタート「まちづくりセンター」ホームページ

こうべまちづくりセンターでは、阪神・淡路大震災以降、専門家派遣やまちづくり活動団体に対する助成等を通して、地域のすまい・まちの復興支援に取り組んできました。これらの支援事業のほかに「まちづくり大学」や「市民安全まちづくり大学」等の人材育成プログラムにも積極的に取り組んでいます。さらに、震災関連の情報を中心にいろいろなまちづくり情報を収集し、発信していく「情報バンク機能」の充実にも努めています。これらの活動を皆様幅広く知っていただくため、この度「こうべまちづくりセンター」ホームページを開設しました。

1. ホームページでお手元にお届けする主な情報

(1) まちづくりセンターのまちづくり支援事業

まちづくりセンターが、震災以降積極的に取り組んでいる復興まちづくり支援の最新の情報をお届けします。

(2) まちづくり大学やセミナー等の開催情報

まちづくりセンターが実施する「まちづくりセミナー」「まちづくり大学」「市民安全まちづくり大学」等の開催情報をいち早くお知らせするとともに、セミナー等の終了後はその内容を簡単にお知らせします。

(3) まちづくりライブラリー新着図書紹介

こうべまちづくり会館 4 階に「まちづくりライブラリー」が設置されています。ライブラリーには都市計画、建築、土木等の専門書を中心に「まちづくり」関連の図書が約 2100 冊あります。このうち新着図書の書名、著者名等を一覧表の形でお知らせします。

(4) こうべまちづくり会館の利用案内

こうべまちづくり会館のホール、会議室、ギャラリー等の施設利用のご案内をします。

また、本格的な画廊としてご好評をいただいている「こうべまちづくり会館ギャラリー」での展覧会の予定もお知らせします。

(5) まちづくりセンターニュース

「あーばんとーく」の記事内容をいち早くそのまお届けします。

2. まちづくり情報システム

都市計画や市街地整備等に関する情報を分かりやすく、簡単な操作ですばやく検索することのできる「まちづくり情報システム」を現在、構築中です。こちらにも近日中にサービス開始の予定ですが、まちづくりセンターのホームページからもアクセスできます。

3. アクセスの方法

インターネットと接続しているパソコンから次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

4. サービスの開始

平成 10 年 12 月 25 日からサービスを開始しています。たくさんの方々からのアクセスをお待ちしています。

5. まちづくりセンターホームページ

NEW S
あーばんとーく 平成10年11月号
まちづくりライブラリー 新着図書
「小堀良平作品集」(11月7日~23日)
「第1回復興まちづくりセミナー」(11月28日)
SPECIAL
私はまちづくりセンターをこう利用した
私がまちづくりセンターに期待すること
特別寄稿論文
リンク

最新更新日: 1999年 12月 10日 (木)

1 情報の提供	・まちづくり情報システム ・まちづくり情報センター ・センターニュース「あーばんとーく」
2 地域への支援	・すまいまちづくり人材センター(専門家派遣) ・まちづくり活動助成 ・空地整備助成(スポーツ創生事業)
3 人材の育成	・復興まちづくりセミナー ・まちづくり大学(専門講座) ・市民安全まちづくり大学
4 施設の利用	・こうべまちづくり会館の概要 ・平成10年度ギャラリー展示一覧
5 調査・研究	・まちづくり研究員制度 ・研究論文など

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2番14号 一階
TEL:078-361-4522 FAX:078-361-4546 E-Mail

まちづくりセンターホームページから神戸市や関係団体のホームページにアクセスすることもできます。

こうべ市民安全まちづくり大学ニュース

第4回まちづくり講座 「地域での実践について考えよう」

今年度のこうべ市民安全まちづくり大学も、いよいよ折り返し点を過ぎ、後半戦に突入しました。今回は、12月17日（木）に開催した第4回まちづくり講座「地域での実践について考えよう」をご紹介します。

プログラム① 基調講演（18:45～19:10）

この日の講座全体の講師は、防災アソビ都市づくり計画室主宰の吉川仁先生にお願いしました。吉川先生は東京を中心に長年にわたって災害に強いまちづくりに携わってこられた方です。まずは先生の自己紹介を兼ねて、東京世田谷区での防災広場づくりや墨田区での雨水利用などの先進的な防災まちづくりの事例についてご紹介いただきました。



プログラム② 市民安全推進員の紹介（19:10～19:30）

今回の講座では、修了後の地域での実践について受講生の皆さんと一緒に考えていただくため、昨年度修了された市民安全推進員のうち6名の皆さんにご登場いただきました。防災福祉コミュニティの会長や小学校の先生、NPOの関係者など個性的で多彩な顔ぶれがそろい、それぞれの視点から地域での活動についてお話しいただきました。



消防での経験を生かし防災に取り組んでいる井上好博さん



東山防災福祉コミュニティ会長の吾妻謙信さん



大学で学んだことを生かしNPOの創設を目指す村耕基さん



まちのバリアフリー化の問題に詳しい竹田明美さん



学校や地域で子どもへの防災教育を進める安田敏明さん



灘中央地区でまちづくりを進めている矢野さん



プログラム③ 会場全体でのディスカッション（19:40～20:45）

プログラムの最後は、吉川先生と6名の推進員の皆さん、そして会場の受講生の皆さん全体をまじえた大ディスカッションです。

さきほどの推進員の皆さんの話に対して、会場からは「コミュニティの安全マップをつくる際には特にどのような点で苦労されたか。」「地域で高齢化が進み働き手になる人材が乏しいが、どのようにコミュニティ組織をつくっていけばいいか。」など、それぞれの課題意識に根差した多くの質問が出され、それに対して推進員の皆さんが自分たちの体験を踏まえて答えられました。

講座終了の際には、市民安全推進員の皆さん一人ひとりから、受講生に対して励ましの言葉が贈られました。受講生の皆さんにとって、1年先輩に当たる推進員と意見交換できたことは、修了後の地域での実践を考えるうえで良い機会になったことと思います。

アメリカの郊外住宅事情⑤自由と平等を考える

アメリカの郊外の住宅地が手が入り美しいのは、そこに住む人が同じような階層にあり、同じ価値観を有する人が住んでいるためであることを前回に述べた。

これはアメリカが移民による多民族国家である前提に立ち、価値の多元化が国家理念にあるためでもある。日本人のように単一民族の長い歴史を持つ国民にとって、多元化社会はなかなか理解できない。逆に、アメリカのアフリカ系アメリカ人（黒人）の奴隷・差別の歴史から、様々な分野で差別のある国であると今でも思っている人が多い。

現代のアメリカは、世界各国から人が集まり、あらゆる分野で活躍している。人種・民族だけではなく、男性・女性や年齢による差別のない社会になっている。日本の求人広告のように「35歳迄の男性募集」という内容は許されない。採用にあたり差が認められるのは、能力だけである。要するに男性優位・年功序列の考え方はない。能力のある者が、地位や高い報酬を得る社会である。

アメリカほど自由と平等を求め続けてきた国はない。

アメリカ建国の礎となったピルグリム・ファーザーズ（巡礼者の始祖）と呼ばれたピューリタンが、命を懸けて大西洋を渡り新天地を開拓したのも、イギリス本国での宗教的締め付けに対する自由を求めたからである。上陸する際に、各人が互いに自由な人間として契約を結び、新天地に自治政府をつくるとした「メイフラワー誓約」は、その後の分権国家・地方自治の民主主義の発達の基礎となり、今なおアメリカ人の理想主義の源になっている。



19世紀の面影を残すボストンの街なみ

その後も移住者が各地に続々と自治を前提とした植民地を造った。そして植民地の自治を求めた1775年のボストンでのイギリス本国との独立革命戦争の開始から、1783年のパリ条約で、13のステート（国家）

が一つの連合国家となった「アメリカ合衆国」が正式に承認されるまで、アメリカ人は幾多の苦しい戦闘と苦難の末に、自由と平等を戦い取ったのである。

1776年7月4日の、「我々は、自明の真理として、すべての人は平等に創られ、造物主によって、一定の奪いがたい諸権利を付与され、その中に、生命、自由、及び幸福の追求が含まれることを信じる」で始まる自由と平等を求めた「独立宣言」は、その後の1789年のフランス革命に大きな影響を与え、「人権宣言」にその精神が盛り込まれたことは歴史上の事実である。

一方で、自由と平等の国を求めたアメリカには、経済的自立のために黒人奴隷の悲しい歴史の事実もある。

南部の州では、たばこ等の農産物の栽培がプランテーション制度で行われ、労働集約型産業として経営者には常に労働者の確保の問題があった。オランダ商人はそこに目をつけ、アフリカ大陸から黒人奴隷を終身の年奉公人として、経営者に売りつけた。その後奴隷の数は急速に増え、独立宣言の頃には、自由・人道・平等主義上問題となった。やがて、奴隷反対運動、奴隷貿易の禁止、奴隷制度撤廃の動きが高まり、南北戦争による南部の敗北で、1863年には奴隷廃止宣言がなされ、すべての奴隷の自由が認められた。

奴隷解放したが、戦争で敗北した南部の州の連邦からの脱退をおそれた政府は、連邦にとどめるため、南部の州で独自に定めた巧妙な合法的または非合法的黒人差別を容認せざるを得なかった。それがその後の差別の事実になり、ソ連の平等を謳う社会主義の理想と比較され、差別のある国として理解されたのである。

しかし1960年代の公民権運動により、現在では全ての分野で完全に自由と平等は達成されている。

「選択に自由」と「機会の平等」。この理念により、誰もがチャンスを与えられ、常にアメリカン・ヒーローが誕生し、アメリカン・ドリームを追い求める。日本のように「迷惑かけなければ何でも自由」と「結果の平等」では、権利ばかりが主張され、ヒーローの誕生やドリームの追求は限定され、躍動感が生まれてこない。逆に学歴や、女性であることで就職の門が狭められる差別すら存在する。

アメリカの郊外住宅は、価値の多元化と、権利と責任、自由と平等、これらの理念の一端としてのまちづくりの現状である。

（神戸市都市計画局アーバンデザイン室 中山久憲）

まちなみセンター ライブラリーニュース

こうべまちづくりセンター図書室
 まちづくり会館 4階・TEL 361-4523
 開館時間：午前10時～午後6時
 休館日：毎水曜日・年末年始

新着図書を紹介

書名	著者・編集者	発行所
1 図集 日本都市史	高橋 康夫 外	東京大学出版会
2 イメージとしての都市	斉藤 隆文 外	南雲堂
3 ヨーロッパの都市と思想	奥田 宏子 外	劉草書房
4 全国町おこしイベント 成功事例	井戸川 隆充	WAVE出版
5 遷都新世紀 新首都論	山田 雅夫	山海堂
6 市民参加の防災まちづくり	国分寺市民防災推進委員会	自治体研究社
7 商店街 再生のデザイン	神谷 長明 外	同友館
8 「商店・商店街活性化」の実際	伊藤 陽三	経林書房

当センタにふさわしい図書・資料をご紹介ください、担当：調査係 橋本まで。

まちづくり会館からのお知らせ

まりづく会館 3階に交流サロンオープン

会館3階のまちづくり情報センターの一角に自由にお使い頂ける交流サロンを設置しました。
 お気軽にお立ち寄りください。

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
1月 7日(木)～12日(火)	神戸大学写真部展	神戸大学写真部
1月 14日(木)～17日(日)	志学書法院 書初展	志学書法院
1月 21日(木)～26日(火)	兵庫の自然美と人々の暮らし	(財)兵庫労働者福祉基金協会
1月 28日(木)～2月2日(火)	丹水会展	丹下 幸男

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの予定

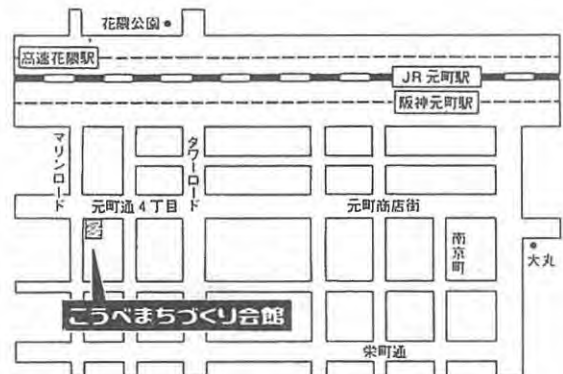
1月の予定	航空写真でみるまちの移り変わり 震災の前と後	都市計画局区画整理課・再開発課
-------	------------------------	-----------------

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
 (こうべまちづくり会館 3F)
 電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584
 受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 祝日・土・日曜は
 まちづくり相談コーナー で受け付けます
 (こうべまちづくり会館4F)
 時間は、午前10時～午後5時

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
 会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など
 受付は、午前10時～午後6時
 電話 078-361-4565



〒650-0022
 神戸市中央区元町通4丁目2-14
 電話 078-361-4523
 FAX 078-361-4546